

平泉の文化遺産 世界遺産登録3周年

平成23年6月29日、平泉の文化遺産は「平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一」として、ユネスコの世界遺産に登録されました。

奥州藤原氏初代清衡公が、戦争のない理想郷を目指して中尊寺を建立。その後極楽浄土をこの世に現そうと二代基衡公により毛越寺が、三代秀衡公により無量光院などが建立されました。

私たちは、世界遺産の町「平泉」の住民として、先人の残した遺産と想いを後世に守り伝えていかなければなりません。



▶平泉ライオンズクラブより寄贈された世界遺産登録記念碑「浄土の心」の文字が刻まれています

記念フォーラム

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録3周年と平泉世界遺産の日制定を記念したフォーラムが6月29日、平泉小学校体育館で開催されました。フォーラムは2部構成で行われ、町内外から約300人が参加しました。

第1部の講演では、女優の秋吉久美子さんが「みちのく平泉に想うこと」をテーマに想いを語りました。この中で、秋吉さんは「東北の誇りを打ち出す中心地として平泉を世界に発信してほしい」と呼びかけました。

また、「名勝おくのほそ道の風景地―芭蕉と平泉―」と題して講演した文化庁主任文化財調査官の本中眞さんは、「町中の看板や建物の色も、町民や産業を営む人が時間をかけ合意形成し、環境改善に取り組むことが大切」とこれからの課題について話していました。

第2部「平和のこころ FROM HIRAIZUMI」をテーマにしたパネルディスカッションでは、秋吉さんと本中さんに加え、義経を題材にした英文小説の著者である千葉ローズマリーさん（5区）、菓子職でシンガーソングライターの吉野崇さん（11区）、菅原町長をバネリストに、エフエム岩手の矢部真希子さんのコーディネートで世界遺産として認め



▶意見を交わすバネリスト

られた価値や理念から平和の心を世界にどう発信するかなど意見を交わしました。

この中で、千葉さんは「あらゆるものに深い慈悲を見せる供養願文はユネスコ憲章にも通じる。平和について、子どもたちに早い段階から教える必要がある」と話し、吉野さんは「平和に関する最先端の街を目指してもいい」と観光面の方向性を提案していました。

世界遺産「平泉」の今後について、本中さんは「世界遺産を一度手にした以上は、この責任を果たしていく義務がみんなにある」と価値や意義を考え、後世に伝えていくことの大切さを強調しました。

秋吉さんは「平泉は藤原氏が浄土の具現化のためにつくった都。世界に発信する大事な場所」と想いを語りました。



平泉への想いを語る秋吉久美子さん

前夜祭

前日の28日には、役場庁舎前を会場に前夜祭が開催されました。前夜祭はNPO法人みんなで作る平泉が主催。泉響会による木遣りや山王太鼓による演奏、町内団体によるよさこいソランの演舞などが披露されたほか、中尊寺と毛越寺の使用済みろうそくを使って作られたオリジナルキャンドルの点灯式などが行われました。

また会場には地元商工業者などの出店が並び、にぎわいを見せていました。

夢灯りやキャンドルに照らされた会場内は幻想的な雰囲気になっていました。

1. キャンドルに火をともし参加者
2. たくさんのキャンドルが周囲を優しく照らしました
3. 木遣りを披露する泉響会の皆さん
4. 力強い演奏を響かせた山王太鼓
5. 会場を盛り上げたよさこいソランの演舞

